

左から、大橋拓文七段、武宮陽光日本棋院理事長、マイケル・レッドモンド九段、デミス・ハサビス氏、一力遼棋聖、井山裕太王座で記念撮影

ノーベル化学賞 ハサビス氏来院



囲碁がAI開発の出発点

11月21日にグーグルディープマインド社CEOのデミス・ハサビス氏が日本棋院東京本院へ来院。「囲碁を嗜まれる方に感謝申し上げます。囲碁を楽しむ方がいたからこそ、アルファ碁の開発があり、アルファワールドに繋がられた」とハサビス氏。当日、井山裕太王座の特別対局と、一力遼棋聖との特別対談が行われた。

囲碁の魅力に心酔
2016年にアルファ碁と李世石九段の五番勝負で大きな衝撃を与えたハサビス氏。「大学生の頃、数学的に見て、囲碁の奥深さに惹かれて始めた」という。アルファ碁を開発したきっかけは、学生時代にチェスのAI・ディープブルーが人間のチャンピオンであるカス・パロフ氏に勝利したこと。「もし、AIの研究をするならば、ディープブルーのようにチェスだけできるのではなく、AIが自ら学ぶものを作りたい」と志したという。ケンブリッジ大学でデビッド・シルバー氏と出会い、最強の囲碁

来院の経緯
デミス・ハサビス氏は2024年慶應医学賞を受賞。11月20日に慶應義塾大学で授賞式が行われることにより来日。ディープマインド社は人工知能「アルファワールド」でタンパク質の構造を予測することに成功。医薬品などの開発に影響を与えたことが評価された。(この実績で、ハサビス氏は2024年ノーベル化学賞を受賞)ハサビス氏が囲碁を打つことから、日本棋院とディープマインド社と繋がりのある大橋七段がコンタクトを取り、翌日に来院する運びとなった。

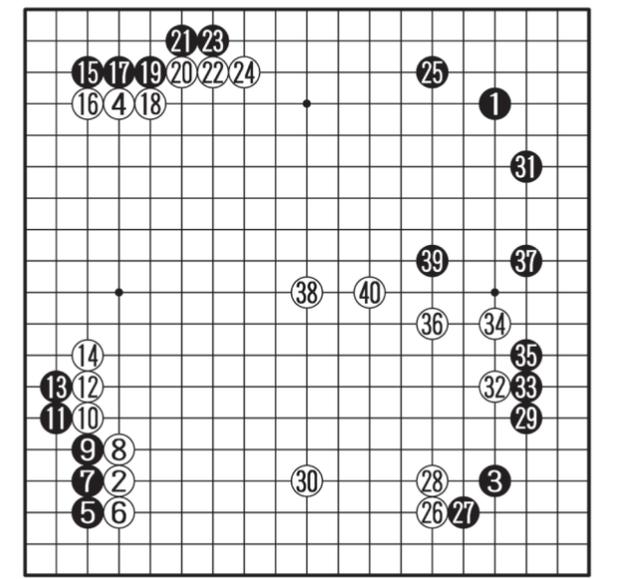
世界規模の貢献
タンパク質の構造を予測するアルファワールドは、アルファ碁の開発で得られた知見の多くを適応できたという。「過去、現在で囲碁を嗜まれている方々に感謝申し上げます。皆様の取り組みがなければ、アルファ碁の開発はありませんでした。」

新たなステージ
一力棋聖との対談で、対局をした井山王座は「アルファ碁は衝撃的で、方について聞かれると囲碁そのものを大きく変える。即ち、世界的に注目されているAGI(汎用人工知能)を見通した開発をアルファ碁時代から思い描いていたのだ。」

④井山王座とハサビス氏の特別対局。⑤人類発展の未来を示した偉業と、碁界発展の感謝や喜びの気持ちを込めて最高段位の九段免状を贈呈



〈ハサビス氏と井山王座の特別対局〉
黒 デミス・ハサビス
白 井山裕太王座
〈総譜〉①-④⑩完、打ち掛け



人類の課題解決のカギ

世の中の多くのことがAI抜きで語れない、そんな時代が差し迫っている。

例えば、『簡明な進行で勝率の高い形を教えてください』と命令すれば、ある局面からいくつか提案される形だ。ディープマインド社は「ヒアリング、アクション、タスク」をこなせるエージェントシステムを開発しており、更なる発展を目指している。

